

2010 年度受託研究概要報告

自動車を取り巻く通信技術の応用開発

研究メンバー

| | |
|------|-----------------------|
| 見明暢 | デザイン学部プロダクトデザイン学科助教 |
| 曾和具之 | デザイン学部プロダクトデザイン学科准教授 |
| 松本雄樹 | デザイン学部プロダクトデザイン学科実習助手 |

委託者

株式会社東海理化

研究概要

『自動車を取り巻く通信技術の応用開発』～五感で楽しむ～という題目で学生 11 名による次世代の通信技術を使用した車とユーザーとの関係性のデザイン提案を実施した。

研究成果

本学三年生 11 名の学生が参加し、アイデア提案を実施した。他本学二年生 3 名がプロジェクトの過程を記録に残すメディア班として参加した。本年度は女子美術大学との二校同時開催のプロジェクトとなった。

成果物としてデザインスケッチ、モックアップ、アイデア展開の過程を時系列順に整理し最終案までの道筋を示したものをプロジェクト冊子にまとめた。作品に関しては、東海理化本社におけるプレゼンテーション、六本木 AXIS ギャラリーにおける展示会を実施した。展示会の様子は、AXIS (vol. 149/ 2011. 2 月号) に掲載された。

東海理化デザイン部様より二回に渡るプレゼンテーションで実施された来場者からのアンケート結果をフィードバックして頂き、参加学生にとって客観的な作品外部評価を頂く貴重な機会となった。また、プロフェッショナルのデザイナーからご意見や直接の指導を受けることができたことは、学生たちの技術向上の良ききっかけとなった。メディアチームは、アイデアからデザインモデルに到るまでの経過写真をジオラマ風にして展示するという新たなプレゼンテーションの方法を試みた。ジオラマのサイズ（畳一畳程度）から、一見してデザインの過程において多くの時間が費やされたことが分かり、近寄って詳細を見ると各メンバーのプロジェクトにおいて過ごした時間が時系列順に理解できるジオラマは、来場者にも興味を持って見ていただくことが出来た。



写真1 制作風景



写真2 学生作品（よい子）



写真3 AXISでの展示風景